

いしかわ

ビュー

まちづくり View

No. 62

目次

■特集	都市計画道路北国街道線の完成	1
■	あのまち、このまち“まちづくりめぐり”	
	山代スマートパークの開園	4
	都市計画道路本町宅田線の全線開通	5
■	センターだより	6

特集

都市計画道路北国街道線の完成

1 はじめに

都市計画道路北国街道線は、小松市中心部を通る旧北国街道の一部であり、古くから多くの人・ものの交流を担う重要な道路であります。また、沿道には「こまつ町屋」などが建ち並び、歴史ある街並みが現在も残っており、事業区間である小松市龍助町、西町界隈は、平成22年に小松市景観計画において、「伝統的景観重点地区」に指定されています。

しかしながら、これまでは電柱や電線が景観を阻害し、歩道が未整備であったことから歩行者や自転車利用者の安全性も確保されていない状況でした。

こうした中、沿線住民を中心とした「龍助町・西町 北国街道まちなみ協議会」によるまちづくりと合わせ、石川県と小松市で平成27年度より無電柱化と歩道整備に着手し、本年4月に整備を完了させました。



▲ 完 成



▲事業位置図

2 事業概要

路線名：都市計画道路 北国街道線

(県道 小松鶴来線、市道 龍助町九竜橋線)

地内：小松市西町～龍助町～本折町 地内

計画延長：L = 780m

(県道320m、市道460m)

幅員：W = 10.9m

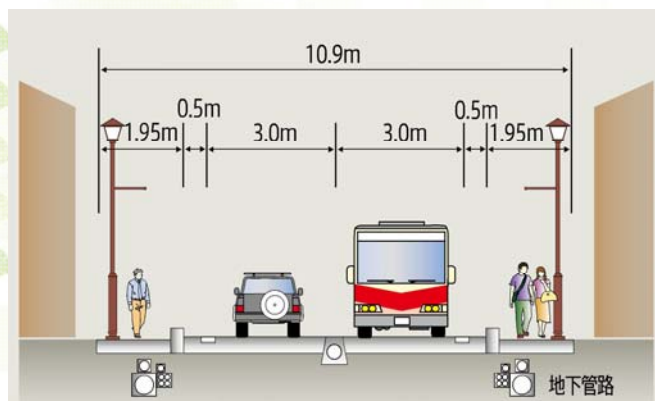
事業期間：平成27年度～令和3年度

総事業費：約20億円

3 まちなみ協議会

平成26年に発足した「龍助町・西町 北国街道 まちなみ協議会」では、『町衆文化の代表である「曳山」が似合う通り』をコンセプトにまちづくり協定を策定し、建物の新築や改築の際には、こまつ町屋の伝統的な建築様式を取り入れるなど、歴史的な街並みに配慮した景観形成を進めています。

また、同協議会のにぎわい部会のメンバーが中心となり設立した「北國とおり町にぎわい協議会」では、「北國とおり町マーケット」の開催をはじめ、ホームページの作成、プロジェクションマッピング、モニターツアーの開催など、地域の賑わいの創出に向け、様々な取り組みを行っています。



▲標準断面図



▲こまつ町屋の伝統的な建築様式例



▲整備前の状況



▲整備後の状況

4 おわりに

5月29日には、「龍助町・西町 北国街道まちなみ協議会」の主催による「都市計画道路北国街道線完成を祝う会」が、石川県知事、小松市長など関係者列席のもと執り行われました。

まちなみ協議会では、北国街道線沿線のさらなる賑わい創出を図るため、事業の完成後も北陸新幹線の小松駅開業に向けて各種イベントの企画・運営を行っており、無電柱化、歩道整備完成後初めてのイベントとして、7月30日には、若手商店主を中心に設立された「北國とおり町にぎわい協議会」が「縁日」を開催致しました。

夏休みの賑わい企画として金沢大学の学生とコラボし、スーパーボールすくいや、かたぬき、ヨーヨー釣り、射的といった出し物と、綿菓子や焼き鳥等を販売し、美しい街並みとなった北國とおり町（北国街道線）で、多くの参加者にそぞろ歩きを楽しんでいただきました。今後も、市内外からの誘客や町の活性化を図る様々なまちづくり活動が展開されていきます。



▲北國とおり町マーケット



▲縁日の風景

【問合わせ先】

石川県土木部都市計画課

TEL:076-225-1758

E-mail:toshikei@pref.ishikawa.lg.jp

山代スマートパークの開園



▲HP

1 はじめに

山代温泉街の西の玄関口に位置する山代スマートパークは、以前は老朽化が著しい廃業旅館が立地しており、地域住民から防犯や安全の対策を求められていました。

また、立地適正化計画の都市機能誘導区域内ということもあり、この廃業旅館を取得して取り壊し、地域住民の生活の質向上に寄与する街区公園として整備し、本年4月に開園しました。



◀ 整備前（廃業旅館）



▲整備後（山代スマートパーク）

2 事業概要

加賀市では、市民共創で築く「スマートシティ加賀」宣言を令和2年3月にしており、この一環として、「テクノロジーが体験できる公園」をコンセプトに整備しました。

また、整備計画の過程では、利用者ニーズに応えるため、地域住民の意見を取り入れながら民間資本やノウハウの導入を検討し、北陸地方整備局管内では初めてとなる公募設置管理制度「Park-PFI」により、設計・整備・維持活用を図ることとしました。

【国庫補助】社会資本整備総合交付金 官民連携型
賑わい拠点創出事業

【事業名】加賀市官民連携型賑わい拠点創出事業
(山代西部公園)

【工期】令和3年9月～令和4年3月

【事業費】108,700千円
(市負担分)

【事業者】山代プラス

3 施設概要

公園面積：2,852㎡

所在地：加賀市山代温泉壱五39番地1

特定公園施設：体験学習施設、駐車場（12台）、
芝生広場、デザインベンチ、植栽、
日陰だな、園路、高速Wi-Fi

公募対象公園施設：カフェ兼フラワーショップ



▲デザインベンチで遊ぶ子ども達



▲公募対象公園施設「hana-no-ya café-no-ya」

【問合わせ先】

加賀市建設部都市計画課

TEL:0761-72-7925

E-mail:toshiseisaku@city.kaga.lg.jp

都市計画道路本町宅田線の全線開通

1 はじめに

本町宅田線は、輪島市の中心市街地を南北に直結する都市計画道路として昭和50年に都市計画決定され、平成6年から事業を進めてまいりました。

また、平成30年には、石川県事業として、東西を結ぶ都市計画道路小伊勢稲舟線（輪島バイパス）の西側区間が事業着手されており、数年後には、市街地の外郭を形成する道路網が整備されます。

こうした、道路網を補完し、より効果的な利用を図るため、住宅密集地で整備が遅れていた本町宅田線の最終区間について、平成30年より事業着手し、令和4年3月に事業が完成したことで、全線開通に至りました。

2 事業概要（全体）

路線名：都市計画道路本町宅田線

事業期間：平成6年度～令和3年度

全体延長：L = 1,500m

代表幅員：W = 22m

3 整備区間

事業名：都市計画道路本町宅田線改築事業

施工期間：平成30年度～令和3年度

施工延長：L = 300m

幅員：12m

事業費：約15.8億円



4 おわりに

現在、国直轄事業の能越自動車道をはじめ、石川県事業の都市計画道路河井町横地線及び都市計画道路小伊勢稲舟線（輪島バイパス）について事業着手いただいております。市街地の幹線道路網の形成が進められています。

本町宅田線の全線開通により、海の玄関口であるマリンタウンから住宅密集地を通過して市立輪島病院・商業エリアが一体的に結ばれたことは、市民生活の利便性の向上のみならず防災・救急活動や観光誘客についても大きく寄与するものです。今後整備が進められていく国直轄事業及び石川県事業との相乗効果で中心市街地の更なる発展に期待が寄せられています。

【問合わせ先】

輪島市建設部都市整備課

TEL:0768-23-1156

E-mail:toshi@city.wajima.lg.jp



センターだより

～まちづくりリーダー研修会 2021+を開催しました～

当センターでは、将来のまちづくりを担う子どもたちと一緒にまちを知り、考える活動を支援する「いしかわこどもの未来創造まちづくり事業」と、地域の風土・食・伝統をテーマとしたまちづくり活動を支援する「我(和)がまちづくり (いしかわ地域の魅力創造まちづくり事業)」の2事業により、地域のまちづくり活動への助成を行っています。

先般、当助成を受け活動した団体の活動報告の場として「まちづくりリーダー研修会 2021+」を開催しました。

■ 開催概要

《 日 時 》

令和4年5月22日(日) 13:00～17:00

《 場 所 》

石川県地場産業振興センター本館 第1研修室

《 内 容 》

【第1部 活動報告】

いしかわこどもの未来創造まちづくり事業(5団体)

【第2部 活動報告】

我(和)がまちづくり(いしかわ地域の魅力創造まちづくり事業(4団体)

【認定証交付式】



▲ 研修会の様子

■ 活動報告

昨年度助成を受け活動した9団体から、1年間の取り組みについて報告がありました。子どもの取り組みでは、まちづくり活動に参加した子ども達が、緊張しながらも自らの思いや考えを堂々と発表していました。どの団体も地域に応じた特色のあるまちづくり活動を行い、“地域を愛し、より良くしたい”という熱い思いが、多くの参加者の心を惹きつけていました。また、会場には、実際に制作した作品等も展示し、地域ならではの魅力が伝わる報告会となりました。

コロナ禍により、いろいろな制約を受ける中での活動は思うようにいかなかったところもありましたが、その中でも工夫を凝らして出来た活動の成果、今後の課題など、今回の研修会で得たヒントや団体間の交流により、今後、更に活動の広がりが生まれることを期待しています。



▲ 活動報告の様子



▲ 展示スペースの様子



■ 認定証交付式

報告会の最後には、1年間の活動をたたえ、認定書の交付が行われました。



▲ 認定証交付式・記念撮影



■ 参加者の声

- ・各地で様々な取組をしていることを知る機会となった。
- ・地域のため、次世代のために熱意をもって頑張っている皆様のお話に胸が熱くなり、元気をもらった。
- ・自分達の活動を振り返ってよりよくしようとする姿勢が今後とても楽しみだと感じました。
- ・さらに頑張ろうとモチベーションが上がりました！

■ 動画配信

当日の発表動画をセンターHPで配信しています。是非ご覧ください。

<https://www.machisen.jp/machi/yousei.html>

いしかわまちづくり技術センターでは、まちづくりに関する様々な活動をサポートしています。
ここでは、サポート内容についてご紹介します。

まちづくりの啓発や普及をサポート

○街並み・まちづくりシンポジウム

まちづくりに関する「意識の高揚」、「普及と参画促進」、「きっかけづくり」などを目的に、最新のまちづくりに関する話題や課題等をテーマとしたシンポジウムを開催しています。

今年度は、11月に珠洲市での開催を予定しています。皆様のご参加お待ちしております。

＜まちづくりシンポジウム in 珠洲市＞

日時：11月18日（金）13:30～

場所：ラポルトすず（珠洲市多目的ホール）

テーマ：「奥能登国際芸術祭からつなげる
まちづくり」

○まちづくり専門家の派遣

住民団体や協議会が実施する、まちづくりに関する講習会や勉強会にまちづくりの専門家（アドバイザー）を派遣し、まちづくり活動を支援しています。当センターでは、専門家の旅費・謝金を助成しています。

○まちづくり研修会

まちづくりに必要な視点や考え方を学びます。今年度は、「まちづくりに欠かせない対話と場づくりの力」をテーマに8月25日に開催しました。



▲ 講演



▲ グループワーク

住民主体のまちづくり活動をサポート

○いしかわこどもの未来創造まちづくり事業

将来の地域のリーダーとなる子どもたちと共に
行うまちづくり活動（まちづくり学習）を支援して
います。今年度は、5件の活動に助成します。

○我（和）がまちづくり（いしかわ地域の魅力創造まちづくり事業）

“元気な住民と元気なまち”をつくりだすための
まちづくり活動を支援しています。今年度は、5件
の活動に助成します。

○まちづくりリーダー研修会

活動支援を受けた団体の報告会を行います。地域
で頑張る皆様の生の声が聞け、他の活動から学べる
事がたくさんあります。



▲ いしかわこどもの未来創造まちづくり事業



▲ 我（和）がまちづくり（いしかわ地域の魅力創造まちづくり事業）



まちセンくん



まちづくりに関する様々な
情報を発信しています。



編集後記

今回は、都市計画道路北国街道線の完成について特集しました。小松らしい歴史や伝統が街道の各所に今もなお息づいています。ゆっくりと歩いて、一つひとつの風情・情緒を味わい楽しむことも、まち歩きの醍醐味でしょう。秋風と歴史を肌で感じながら、北國とおり町を散策してみませんか。

当センターでは、皆さまのまちづくり活動を支援するとともに、まちづくりに関する情報発信に努めています。是非、お気軽にお問い合わせください。

編集協力：石川県（都市計画課）、輪島市、加賀市
発行：公益財団法人 いしかわまちづくり技術センター
TEL：076-239-1616 FAX：076-239-1606
HP：<https://www.machisen.jp/>
発行日：令和4年9月